

サステイナブル建築、サステイナブルコミュニティ

地球環境問題、資源・エネルギー問題を背景に、我が国は少子高齢、人口減少、ストック化社会に入っている。都市・建築にあっては、活力を維持しつつ、これらの諸課題に対応し、良質な環境とストックを次世代に継承する責務がある。そのためには経営的視点からの技術の総合化と社会的しくみづくりが必要である。

当研究室の研究にはグローバルな視点が必要である。国際的には、欧州の歴史都市の研究者と連携しているほか、先進企業の新しい不動産管理について実務者らと情報交換する組織に所属している。国内では、金沢ほかのまちづくりに取り組んでいる他、公共・民間のファシリティマネジメントの調査研究も行っている。

地方都市の中心市街地再生の計画—防災建築街区の再生を核として—
2010年度日本建築学会大会設計技術部門優秀賞受賞



まちづくり・建築いづれにおいても、地方都市における「持続的な環境と経営の両立」と現場主義をモットーとしています。そのためには都市・建築の総合的な技術に加えて、財務・会計のノウハウを活用し、プロジェクト化に努め、一般市民に判り易く説明し、各種手法による合意形成を図りたいと考えています。お気軽にお問い合わせください。



円満 隆平 教授

学部：環境・建築学部 学科：建築デザイン学科
所属研究所：金沢歴史都市建築研究所
工学博士。早稲田大学大学院理工学研究科博士課程前期修了・後期満期退学。清水建設(株)を経て、平成16年本学教授就任。

Keyword

建物の有効活用 / 経営と環境の両立 / 不動産活用 / 商店街活性化